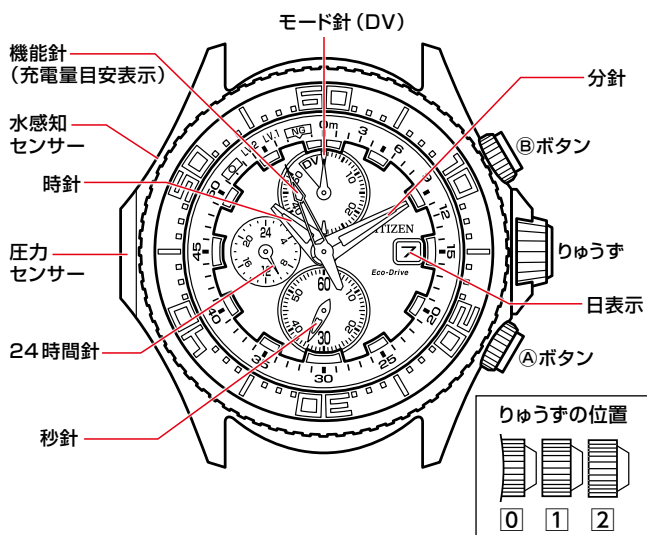


## B740 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 B740取扱説明書

### 各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) も併せてご覧ください。
- ・ねじロックりゅうずの解除は、りゅうずが飛び出すまで左に回してください。
- ・操作後は、ねじロックりゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締めてください。

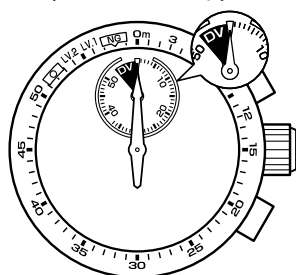
### モードを切り替える

時刻モードとクロノグラフモードを切り替えます。

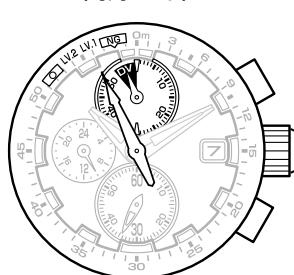
#### 1. Aボタンを2秒間以上押す

Aボタンを2秒間以上押すごとに、2つのモード間が切り替わります。

〈クロノグラフモード〉



〈時刻モード〉



### ダイビングモードへの切り替え

時刻モードで水感知センサーが濡れると、自動的にダイビングモードに切り替わります。

- ・機能針がNGを示している場合は、ダイビングモードに切り替わりません。

### 時刻を合わせる

1. 時刻モードになっていることを確認する  
モード針がDVを指していることを確認します。
2. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を②にする  
機能針が0秒位置を指します。
3. りゅうずを回して、時刻を合わせる
4. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする  
秒針が動き始めます。



### 日表示を合わせる

- ・時計が午後9時～午前1時を示しているときは、日表示合わせをさせていただきます。日表示が切り替わらなくなる場合があります。
1. りゅうずの位置を①にする
  2. りゅうずを回して日表示を合わせる
  3. りゅうずの位置を②にする

### ダイビングモードを使う

1. 時刻モードになっていることを確認する  
モード針がDVを指していることを確認します。

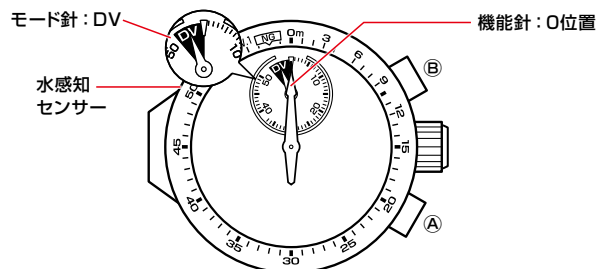


#### 2. 水感知センサーを水に付ける

水感知センサーが水を検知すると、自動的にダイビングモード (準備状態) に切り替わり、機能針が0m位置に移動します。

- ・充電が不足していると、ダイビングモードに切り替わりません。十分に充電してください。
- ・ダイビングモード (準備状態) で水深1m以上に1度も潜水せず、約1時間以上経過すると、機能針がオーバーゾーン表示をします。このような場合は、水感知センサー部をよく洗浄した後、水分を完全に拭き取り乾燥させます。水感知センサーが解除されると、通常の表示に戻ります。

〈ダイビングモード〉 (準備状態)



### 3. 水深1m以上に潜る

機能針が動き、現在の水深を示します。

- 水深が1m未満のときは、機能針は0mを示します。
- 水深が50mを超えると、機能針はオーバーゾーンマーク(52秒位置)で停止し、水深表示範囲を超えたことを示します。再び50mよりも浅い水深に浮上すると、現在水深表示に戻ります。

### 4. ダイビングモードを終了する

ダイビング終了後、水深1m未満で約10分間経過すると、自動で時刻モードに戻ります。

- 10分以内に再度水深1m以上に潜った場合は、潜水の継続とみなし水深計測は継続されます。
- 水深1m未満でAボタンを2秒間以上押し続けると、ダイビングモードを終了し、時刻モードに戻ります。

## 最大深度メモを使う

最新のダイビングでの最大深度を表示します。

### 1. 時刻モード、ダイビングモード(準備状態)で、Bボタンを押す

機能針が最大深度メモを表示します。

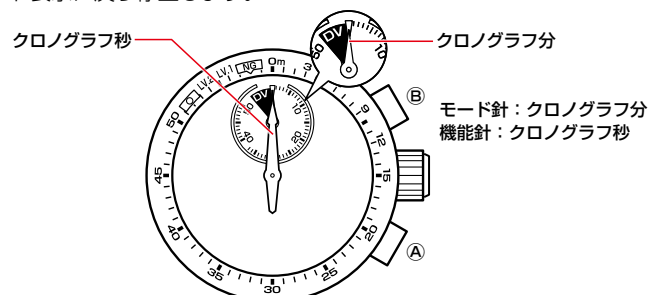
### 2. Bボタンを押してメモ表示を終了する

ボタンを押さなくても30秒間経過すると、メモ表示は自動的に終了します。

- 最大深度メモは、次の潜水を開始するまで記憶されます。
- 最大深度が1m未満の場合は、最大深度メモは記憶されません。
- 最大深度が50m以上の場合は、最大深度メモはオーバーゾーンとして記憶されます。

## クロノグラフを使う

1秒単位、最大50分まで計測できます。50分計測終了後は、リセット表示に戻り停止します。



### 1. 時刻モードでAボタンを2秒間以上押す

機能針とモード針が0位置に早送りして停止します。

スタート/ストップ: Bボタンを押します。

リセット: ストップ中にAボタンを押します。

- クロノグラフ計測中はモードの切り替えはできません。
- クロノグラフストップ中にモードを切り替えると、計測値はリセットされます。
- リセット表示で約3分間経過すると時刻モードに戻ります。

## 機能針の0位置を合わせる

機能針が0秒位置にもどらない場合や、強い衝撃等で機能針の位置がずれた場合に、この操作を行ってください。

- この操作で機能針を修正できる範囲は0位置を中心に左右15目盛以内です。それ以上合っていない場合は「オールリセットと針の0位置修正を行う」を行ってください。

### 1. リゅうずの位置を2にする

Aボタン、Bボタンを押して、機能針を0秒位置に合わせます。

- 0位置を中心に機能針が右側にあるときはAボタン、左側にあるときはBボタンを押して合わせます。

### 2. リゅうずの位置を0にする

## オールリセットと針の0位置修正を行う

### 1. リゅうずの位置を2にする

### 2. AボタンとBボタンを同時に押す

機能針がわずかに動いて、オールリセットが完了します。

### 3. Aボタン、Bボタンを押して、機能針とモード針を0秒位置に合わせます。

- 0位置を中心に機能針が右側にあるときはAボタン、左側にあるときはBボタンを押して合わせます。
- 二つの針は連動して修正されます。両方のボタンとも押しつづけると早送りできます。

### 4. リゅうずを回して、時刻を合わせる

### 5. 時報に合わせて、リゅうずの位置を1にする

秒針が動き始めます。